

安全データシート

作成日 1993年04月01日
改訂日 2014年05月01日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : 液体塩化カルシウム
整理番号 : HS111
会社名 : 北海道曹達株式会社
住所 : 北海道苫小牧市沼ノ端134番地122号
電話番号 : 0144-55-3788
FAX番号 : 0144-55-1193

2. 危険有害性の要約

人の健康に対する有害性 : 皮膚、眼、胃腸に刺激があり、皮膚、眼に発赤を生ずる。ミストを吸引すると鼻、咽喉を刺激し、咳き込んだり、胸に不快感を感じる。

環境への影響 : データなし

物理的及び化学的危険性 : 不燃性の液体

特有の危険有害性 : 特になし

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

自然発火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分5

急性毒性(経皮) : 区分外

急性毒性(吸引・ガス) : 分類対象外

急性毒性(吸引・ミスト) : 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 : 区分3

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2A

呼吸器感作性と皮膚感作性 : 呼吸器感作性: 分類対象外、皮膚感作性: 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

生殖毒性 : 区分外

特定標的臓器・全身毒性(単回曝露) : 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(反復曝露) : 区分外

吸引呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 区分外

水生環境慢性有害性 : 区分外

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 飲み込むと有害。
軽度の皮膚刺激。
強い眼刺激。

注意書き

予防策 : 使用前に本紙の安全注意事項を読み取り扱う事。

対応	指定された個人用保護具(眼鏡、手袋、保護面、保護衣、長靴等)を着用すること。 :皮膚にかかった場合、直ちに多量の水で洗う。皮膚刺激又は発疹が出た場合は、直ちに医師の診断を受ける。 眼に入った場合は、水で数分間洗う。刺激が続く場合には、医師の診断を受ける。
保管	:容器を密閉して、直射日光を避け、換気の良い涼しい所に保管する。 施錠し保管すること。
廃棄	:内容物又は容器を廃棄する場合には、都道府県の規則に従うこと。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	: 単一製品
化学名又は一般名	: 塩化カルシウム
別名	: 塩カル
化学式(化学特性)	: CaCl_2
含有量	: 35.0%以上
化審法番号	: 1-176
安衛法番号	: 1-176
CAS番号	: 10043-52-4

4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し、不快感を感じたら医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。 大量の水を使用して十分に洗い落とす。 直ちに医師の診断を受ける。
目に入った場合	: 直ちに大量の水道水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。 直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 意識のある場合には、水をコップ1～2杯飲ませ、指をのどに差込吐出させる。 安静にし直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	: 不燃性。
特有の危険有害性	: 不燃性で着火しない。
特有の消火方法	: 不燃性。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	: 皮膚に付着しないように気をつける。 作業の際は保護具を着用して行なう。
環境に対する注意事項 回収、中和	: 環境への影響を起ささないよう、河川などに排出しない。 少量の場合は、多量の水で希釈し容器に回収する。 多量の場合は、土砂等で囲って流出を防止し、これを容器等に回収する。
二次災害の防止	: 漏出物は、容器に回収し、安全な場所に移す。 漏洩した場所の周辺にはロープを張る等し、関係者以外の立入を禁止する。

取扱い

技術的対策	: 保護具を着用し取り扱う。 ミストを吸引しない。 取扱い後は手、顔等を良く洗う。
-------	---

局所排気・全体換気 : 換気の良い場所で取り扱う。
 注意事項 : 特になし。
 安全取扱注意事項 : アルカリ性の場合は、酸性の製品との接触を避ける。

保管

保管条件 : 日光の直射を避ける。
 通風の良いところに密閉して保管する。
 雨水がかからないようにする。
 温度が上がらない場所に保管する。
 酸と離して貯蔵する。
 容器包装材料 : 耐食性のゴムライニング製等容器に保管する。

8. 曝露防止及び保護措置

設備対策 : 屋内作業の場合は、作業者が直接曝露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が曝露から避けられるような設備にする。
 取扱い場所の近くには、シャワー、洗眼などの設備を設ける。
 管理濃度 : 未設定
 許容濃度 日本産業衛生学会 (2006年度版) : 設定されていない。
 ACGIH (2006年度版) : 設定されていない。
 保護具
 呼吸器の保護具 : 特になし
 手の保護具 : ゴム手袋
 目の保護具 : ゴーグル型
 皮膚及び身体の保護具 : ゴム長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観
 物理的状态 : 液体で、わずかに微濁。
 形状 : 液体
 色 : 不透明
 臭い : 無臭
 pH : 8以上 (2倍稀釈)
 融点 : -55℃ (30%水溶液)、-10℃ (35%水溶液)、11.5℃ (38%水溶液)
 沸点 : 111℃ (30%水溶液)、115℃ (35%水溶液)、118℃ (38%水溶液)
 引火点 : なし
 爆発範囲 : 上限/下限 なし
 蒸気圧 : 1.1kpa (35%、20℃)
 比重 (相対密度) : 1.34g/cm³ (35%、20℃)
 溶解度 : 水に任意に溶解する。
 オクタノール/水分配係数 : データなし
 自然発火温度 : なし
 分解温度 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 常温下では長期間において化学的に安定である。
 反応性 : 三弗化臭素又は三酸化硼素と酸化カルシウムの混合物と激しく反応する。
 ナトリウムのような水と反応する物質と反応して発熱する。
 亜鉛引きの鉄板の亜鉛と反応して水素を発生し、爆発する恐れがある。
 危険有害反応可能性
 避けるべき条件 : 液がアルカリ性の場合、酸と離して貯蔵する。
 混触危険物 : 液がアルカリ性の場合、酸と反応する。
 強アルカリと反応して水酸化カルシウムを生ずる。
 危険有害な生成物 : データなし

11. 有害性情報

急性毒性	:経口 LD50(ラット) (雄)3,798mg/kg、(雌)4,179mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	:データなし
眼に対する重篤な影響・刺激性	:データなし
呼吸器感作性	:データなし
皮膚感作性	:データなし
生殖細胞変異原性	:Ames試験 陰性
発がん性	:データなく分類できない。
生殖毒性	:データなく分類できない。
特定標的臓器・全身毒性	
(単回曝露)	:データなく分類できない。
(反復曝露)	:データなく分類できない。
吸引性呼吸器有害性	:データなく分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	:魚類(ヒメハヤ)LC50(96h)=4,630mg/L 甲殻類(ミジンコ)LC50(48h)=2,400mg/L
その他	:漏洩・廃棄などの際は、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
残留性・分解性	:データなし
生体蓄積性	:データなし
土壤中の移動性	:データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。 排水処理等により発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って処理を行なうか、委託する。
汚染容器及び包装	:容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

14. 輸送上の注意

国連分類	:該当なし
国連番号	:該当なし
国連輸送名	:該当なし
容器等級	:該当なし
海洋汚染物質	:該当なし
日本国内での規制情報	:消防法、労働安全衛生法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められた運送方法に従う。 容器の破損、液の漏洩に注意する。 船舶安全法に定めるところに従う。 航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	:名称等を通知すべき危険物及び有害物(SDSの交付)=該当しない
毒物及び劇物取締法	:該当しない
海洋汚染防止法	:有害液体物質(Z類物質)

16. その他の情報

引用文献

記載の取扱い

:製品安全データシート「塩化カルシウム」日本ソーダ工業会 2008

:全ての情報や文献を調査したわけではないため情報もれがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。記載内容のうち、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意願います。

製品の譲渡時にはSDSを添付して下さい。

SDSに関するお問い合わせ

:営業部営業課

合わせ先 Tel:0144-55-3788

Fax:0144-55-1193